



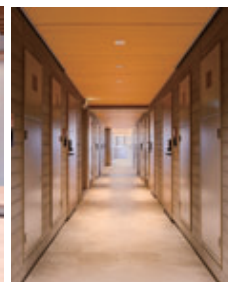
左：木材を外装に用い、住宅街に存在感を放つモダンな外観。上階4層をツーバイフォー工法で建設することで、スギの木 1,526 本分相当の炭素を固定化する環境配慮型施設となった。タイダウンシステムを要所に用いて安全性を強化するとともに、高性能遮音床システムで快適な居住環境も確保。右上：斜線制限を生かしたシルエットと軒天の木が印象を和らげる西側外観。右下：エントランスに入ると、天然木を使用した壁に迎えられる。

上階4層をツーバイフォーで木造化

学生向けの6階建てレジデンス

複数の大学の徒歩圏に立地する本施設は、1・2階がRC造、3～6階が木造の学生レジデンスです。当初の計画ではRC造だったところ、建築主がツーバイフォー工法による5階建てマンションを見て施工元にヒアリングし、循環型資源を活用できる木造メインの混構造に変更しました。「6階建ての場合、建築基準法では1階と2階を2時間耐火構造とし、3階以上を1時間耐火構造にする必要があったため*、経済合理性やプランニング上の特性から下階2層をRC造に、上階4層をツーバイフォー工法にすることを提案しました」と設計者は話します。

1・2階はシェアキッチンやカフェテリアのある共用スペースとなっており食堂以外にもマルチに利用できるため学生間の自然な交流を促します。3～6階は個室スペースで、16㎡前後の個室が全130室配置されています。外観・内装・家具には天然木と木調のものを多用し、木の温もりが表現されています。省エネルギー性にも配慮しており、一次消費エネルギー量を約20%以上削減する集合住宅として、BELS評価の「ZEH-M Oriented」を取得しています。*計画当時



左：木質化の一環で木材仕上げが多用された共用スペース。スキップフロアが取り入れられ、カウンターやテーブル、アルコーブ状の半個室など、席を自由に選ぶことができる。右：色味や木目の異なる木材を使い分けた4階の共用廊下。高性能遮音床システムの採用により、騒音・振動が上下階で伝わりにくい。

DATA - キャンパスヴィレッジ^{いくま}生田

所在地：神奈川県川崎市

用途：寄宿舎（学生寮）

構造：枠組壁工法（1・2階はRC造）
[耐火建築物]

階数：6階建て

敷地面積：1,551.19㎡

建築面積：767.37㎡

延床面積：3,197.37㎡

建築主：東急不動産(株)

設計・施工：三井ホーム(株)

管理運営：(株)学生情報センター工

期：2022年12月～2024年3月

法規制：近隣商業地域

(建蔽率80%・容積率200%)